

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひまわりのたね みのり
------	-------------

公表日 令和7年3月21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		児童数に合わせて机や椅子を用意し、毎日環境の整備をしていく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	児童の動きや特性に合わせて人員配置をしている。	一人一人を細やかに支援していくにはさらに手厚く人材確保をしていきたい。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			児童の特性を理解し、可視化も取り入れながら支援していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の掃除やアルコール消毒、使った椅子や机、玩具も消毒している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		静養室があり、子どもたちがパニックになった時に落ち着けるような環境作りを目指している。	
※	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		毎日のミーティングに加えて、半年に一度の面談おこなうことにより、PDCAサイクルが出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者様からのご意見・評価を職員間で共有し改善につなげていけるよう努めている。	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員間で意見を出し合い、よりよい施設を目指していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		毎日職員でミーティングをおこなっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業者内での研修の他にも、スキルアップのための研修を個々でも受けている。(AEDやEビーン研修など)	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		年度始めに作成し、公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児童発達管理責任者と全クラス担任とで、日ごろからの共有をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全職員が個別支援計画の内容を確認し、支援をおこなっている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		他施設(同グループ内)の児童発達管理責任者同士で、確認・研修会議をおこなっている。	

× 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員間で話し合い共有している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童の課題となっている点を職員で考え、楽しく取り組めるプログラム作りをしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		午前中は公園遊びで集団活動をし、午後からは個別活動をプログラムに取り入れている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝のミーティングで、配置以外にも前日の子ども様子や申し送り事項の共有をおこなっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		夕方のミーティングの際に、一日の子どもたちの子を共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		カイロペの業務日誌にて職員間で日々の様子を共有している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		保護者と情報交換をしながら必要性がある場合は計画の見直しをおこなう。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		モニタリングや情報交換は担当者が対応するようしている。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		公園遊びや児童センターでの遊びを通して触れ合う機会を設けている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や、メール・電話にて保護者様と情報交換をしている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に説明をおこなっている。 その後も問い合わせがあつたら都度説明をするようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		子どもたちが好きなこと・保護者様の願いを取り入れながら作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		支援内容の読み合わせをおこない、保護者さまからの同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		保護者様との連携をとり、悩みや相談があれば電話やメールにてお話を聞き助言支援をおこなっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会では、保護者様同士の自己紹介からはじまり質問タイムを設け、交流の場を設けた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		送迎時や、電話・メールにて相談を受けたら、その日のうちに職員間で共有をし、迅速に対応できるよう心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		HPやインスタグラムなどで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		インスタグラムやホームページの掲載時も写真の取り扱いに気をつけている。	

	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		文章やメールでのやり取りをして、話した内容が振り返れるように、わかるようにしている。 可視化することでわかりやすく伝える。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		作品展では地域の方も足を運べるようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		月に一度ずつ避難訓練や感染対策をプログラムに取り入れている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを保護者様や職員に説明している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		入園前に確認をしている。 年度の初めに再度確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		入園前に確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、安全管理に日々努めながら支援している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		保護者会にて安全計画を周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットファイルにて共有している。 職員で閲覧・確認をしサインをしている。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設け、委員会を中心に研修を定期的におこなっている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		身体拘束に関する説明書・同意書に基づき、ご家族様に説明・了承を得ている。	